



- ふ ぐ る ま -

図書館だより 163号
(2011.10.1)
三郷町立図書館

三郷町勢野西1-4-4

TEL/0745(33)3030

FAX/0745(33)3188

<http://www.lib.sango.nara.jp>

<http://mobile.lib.sango.nara.jp>

秋本番

9月はまだ残暑きびしい日がありましたが、10月になるとすっかり秋も本番。二十四節気では8日頃が寒露、23日頃が霜降だとか。菊の花が咲き始め、山の木々の葉は紅葉に染まり、北国や山間部では、霜が降りて朝には草木が白く化粧をする頃です。紅葉狩り、ハイキング、運動会などで、さわやかな汗をかきましょう。もちろん図書館で借りた本をじっくり読むのにもいい時期です。



10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開館時間

月曜日～土曜日...午前9時30分～午後7時

日曜日.....午前9時30分～午後5時

休館日(斜線) 毎週水曜日

10月3日(月) 館内整理日 10月10日(月) 体育の日

11月3日(木) 文化の日 11月7日(月) 館内整理日

11月24日(木) 祝日の振替休館

11月22日(火)～27日(日) コンピューターシステム入替えに伴う休館



レイチェル・カーソン (米 1907~1964)

「沈黙の春」が出版されてから、50年近くが過ぎました。1962年に出版された「沈黙の春」は環境の汚染と破壊の実態を告発し、大反響を引き起こしました。当時は業界や政府からの批判が強かったのですが、のちに、「歴史を変えることができた数少ない本の一冊」と称されることになり、世界中で農薬の使用制限の法律制定を促し、地球環境への人々の発想を大きく変えるきっかけになりました。出版30年後の新版には、政府の序文がつけられ、アメリカ政府も環境問題に熱意を見せました。レイチェルの声は、世界中を目覚めさせ、今後も沈黙することなく、環境保護に向けての取組みがされることでしょう。美しさを感じるのも、守るのも、そして破壊するのも、人間なのです。

「沈黙の春」(B 519カ)

「『沈黙の春』の世界 - レイチェル・カーソンを語り継ぐ」原 強 (519八)

地球上の生物は食物連鎖で互いに共存しています。大量の殺虫剤によって汚染された土壌・河川は、そこに生きるほかの生き物にも影響が及び、食物連鎖を重ねるごとに、汚染が大きくなります。「沈黙の春」とは、殺虫剤によって汚染された虫を鳥が食べ、死滅し、春になっても鳥がさえずらない、ということです。本書では、DDTという殺虫剤を大量に空から散布することによって起こった被害を、綿密な調査のもとに書いています。DDTは、第2次世界大戦中、害虫駆除に使用され、チフスやマラリアを防ぎ、発明したパウル・ミュラー(スイス人)は、ノーベル賞を受賞しましたが、戦後、農薬として大量使用されることによって起こった被害から、その危険性をレイチェルが訴えることになったのでした。戦中は、薬品を使う化学兵器の開発が進められ、昆虫が実験に使われたためにいろいろな殺虫剤が開発されました。

レイチェル・カーソンってどんな人？

1964年にレイチェルが亡くなった後も、レイチェルの思いは生き続け、環境保護運動の発展につながっていきました。世界中の人々の意識を変えた彼女はどんな人だったのでしょうか。

「科学者レイチェル・カーソン」小手鞠 るい、「レイチェル・カーソン」ジンジャー・ワズワース、「レイチェル - 自然と共に(絵で読む教科書に出てくる世界の科学者たち)」杉山 薫里(ともに児童書 289カ)

「レイチェル・カーソン その生涯」上遠 恵子(289カ)

「レイチェル・カーソン」上岡克己、上遠恵子、原強、「レイチェル」リンダ・リア、「レイチェル・カーソン」ポール・ブルックス(ともに289.3カ)

レイチェル・カーソンのほかの本

レイチェルの思いを綴った、ほかの著書も読んでみませんか。

「センス・オブ・ワンダー」(404カ)

「潮風の下で」(460.6カ) 「海辺 - 生命のふるさと」(454カ)

「失われた森 - レイチェル・カーソン遺稿集」(519.04カ)

「われらをめぐる海」(B452カ)

センス・オブ・ワンダーとは、神秘さや不思議さに目をみはる感性のこと。レイチェルは、自然を感じ、大切に思う気持ちが大事だといっています。子どものときには持っていた感性を、大人になると日々の中で失ってしまいがちです。レイチェルの亡くなった翌年に出版されたこの本は、引き取った姪の息子と、五感を働かせて、自然と触れ合うなかで生まれた、詩情豊かな文章で綴られています。まるで詩集を読んでいるような感覚にとられる、彼女の最後のメッセージです。育児中の方にもお勧めです。

「潮風の下で」はレイチェルの初めての本で、魚・鳥などの海辺の生き物たちの営みを鮮やかに描き、「海と生命の壮大なドラマ」と評されましたが、出版された1941年は、アメリカが第二次世界大戦に参戦し、日本の真珠湾攻撃が始まる数週間前だったためか、部数は伸びませんでした。

児童文学の「シャーロットのおくりもの(E. B. ホワイト作 児童書 933ホ)」では、クモのシャーロットが「もしわたしが虫をつかまえて食べないと、虫がどんどんふえて、この地球をこわし、すべてをぼろぼろにしてしまうってこと、あなた知ってるかしら？」と言う場面があります。自然の摂理と生きる喜びを描いたこの本も、「沈黙の春」「センス・オブ・ワンダー」とともに読んでみませんか。根底にあるものは同じメッセージであるような気がします。



日本では・・・

有吉佐和子の「複合汚染」(BF ア)は、1975(昭和 50)年に出版され、「沈黙の春」の日本版にもたとえられています。本の解説で奥野健男が、「有吉佐和子は今日の工業生産中心の科学技術が、自然を、農業を、生活を、健康を、精神を、そして人間を手ひどく汚染し破壊し滅亡の淵まで追いやっている現実に、文学者として人間として黙って見過ごしてられない危機を感じ、心の底から憂いかつ怒り、そして叫ばずにはいられなかったのである。」と書いているように、有吉佐和子もレイチェルと同じ使命を持っていたのでした。1950年から1970年の四大公害病が思い出されるこの本には、奈良県五條市の農薬に危機感を抱いた開業医の話が出てきます。

10月の行事予定

おはなし会 (おはなしルーム)

2日・9日・16日・23日・30日(毎週日曜日)

小さい子ども向けのおはなし - 午前10時30分~10時50分

大きい子ども向けのおはなし - 午前11時~11時30分

土曜の午後のおはなし会

とき: 22日(土)午後2時より

ところ: おはなしルーム



大人のためのストーリーテリング

とき: 24日(月)午前10時30分より

ところ: 視聴覚室

ブックスタート

とき: 18日(火)午後2時

ところ: 保健センター

対象: 7ヶ月児健診対象の赤ちゃん

フロアー・コンサート

とき: 22日(土)午後4時

ところ: おはなしルーム前

演奏: ギター・マンドリンアンサンブル

ブック・リサイクル

ブルースカイ

とき: 23日(日)・・・午前10時~午後5時

24日(月)~28日(金)・・・午前9時30分~午後5時

ところ: 会議室 3 (休館日を除く)

上映会(視聴覚室)土曜日・午後2時開演(1時30分開場)

8日(土)「彼岸花」(1958年)118分

監督: 小津 安二郎 主演: 佐分利 信、山本 富士子

15日(土)「明日に向かって撃て」(1969年)110分

監督: ジョージ・ロイ・ヒル

主演: ポール・ニューマン、ロバート・レッドフォード

22日(土)「浅草の灯」(1937年)76分

監督: 島津 保次郎 主演: 高峰 三枝子、上原 謙

29日(土)「張込み」(1958年)116分

監督: 野村 芳太郎 主演: 高峰 秀子、大木 実

1日の上映会はおやすみです。

生涯学習室開室のお知らせ

とき: 毎週 土・日曜日 と 13日(木)~20日(木) (休館日を除く)

午前9時30分~閉館30分前まで